

松山市男女共同参画事業実施計画 令和4年度 実績報告(統計版)

令和5年10月

松山市 市民部 市民生活課

実績報告の概要

- 各事業を担当課で自己評価（目標への達成度、課題、成果など）
- 全事業を市民生活課で取りまとめ・分析(各事業の詳細は別紙)
- 男女共同参画会議でのご意見を加え、報告書を市ホームページに掲載

松山市男女共同参画事業実施計画 実施状況一覧

主要課題	事業数	中止	一部中止・縮小・変更
1 男女の人権の尊重 ～互いを理解し尊重します～	20	0	5
2 社会制度・慣行の見直し ～豊かに暮らせる社会を目指します～	9	1	2
3 方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～	14 うち、R2で1事業終了	1	5
4 仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	29	1	6
5 地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	8	0	3
6 教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	10	0	5
合計	90 うち、R2で1事業終了	3	26

松山市男女共同参画事業実施計画 自己評価一覧

主要課題	目標達成度の 平均値	男女共同参画への 配慮度の平均値
1 男女の人権の尊重 ～互いを理解し尊重します～	4.1	4.1
2 社会制度・慣行の見直し ～豊かに暮らせる社会を目指します～	4.1	4.4
3 方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～	4.4	4.4
4 仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	3.6	4.3
5 地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	3.8	4.0
6 教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	3.8	4.9
事業実施計画全体	4.0	4.4

総評

- 数値目標を達成している事業が90事業中41事業と、昨年度の37事業から上昇した。
- 一方で目標の50%の値に満たない事業は9事業で、昨年度の16事業から大幅に減少した。
- 男女共同参画への配慮度は、5点満点が90事業中38事業で、昨年同様「⑤検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた」のチェック数が他の項目よりも少ないため、様々な手法で客観的な評価を取り入れる工夫が必要である。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で開始したオンライン等の活用が、参加者の利便性を上げ、アンケート等でも好評をいただいていることが見受けられ、標準的な方法として定着している。

男女共同参画会議からの提言

- 男性の育児休暇に関しては、松山市としても週間単位で目標を掲げてはどうか。数日の休暇を取るだけで終わらせず、育児の大変さを十分に味わうことに意義がある。
- 数値目標を立てるときには、その達成により職員が幸せになれるか、ということが大事。育児休暇であれば、取得したことで職員の資質が上がったり、家族のきずなが深まったり、市民のことが理解できるようになったりするなど、取り方自体の中身に目標を定めた方がいいのでは。メンタル不調などに対応する必要がある中でも、数値目標を量ではなく質にしているのは、大切なことである。
- コロナ下では、ICTの遅れ、ジェンダー平等の遅れが露呈し、有事には平時の問題が倍増するということを経験した。南海トラフなど次なる有事がすぐそこにきていると思うので、少し落ち着いている今こそギアを上げて取り組むべき。
- ジェンダー平等の推進が人口減少の問題に直結していることを認識しなければならない。愛媛県の人口流出のピークは男性19歳、女性22歳、企業にぜひ頑張ってもらいたいが、松山市役所も事業体であるという意識が必要である。